



佐々木中学校だより

TEL : 0254-27-2505
E-mail : sasaki-jhs@inet-shibata.or.jp



教育目標
よく考え、進んで
実践する生徒

輝ける未来での活躍を願って ~第79回 卒業証書授与式

3月3日(火)に、第79回卒業証書授与式を挙行了いたしました。PTA 会長・後藤正義様をはじめ保護者・地域ご来賓の皆様、在校生、教職員に祝福されながら、14名の卒業生が巣立ちました。卒業生の皆さんが、生きる喜びを噛みしめながら、輝ける未来で活躍することを心より祈念いたします。



答 辞

卒業生代表 (生徒会長)

木々の芽吹きから春を感じる今日、私たちは卒業の日を迎えました。本日は私たちのために、このような素晴らしい卒業式を挙行してくださり、ありがとうございます。

思い返してみると、佐々木中学校で過ごした3年間はあっという間でした。3年前の4月、少し大きめの制服に身を包み、新しい環境への不安と期待を抱えながら校門をくぐったのを覚えています。入学した当初は授業時間が増えたことや、教科ごとに先生が違うことなど、小学校との違いに戸惑うことも多くありました。しかし、先輩や先生方の力を借りて、少しずつ中学校での生活に慣れていくことができました。

2年生になると、新たに1年生が入学しました。はじめは難しかった後輩のリードも先輩の動きを参考に、うまくできるようになりました。リーダー研修などを通して上級生に必要な力を身に付けていきました。

そして、今年度の4月、私たちは3年生になりました。引っ張ってもらう側から引っ張る側になったことで、今年度行った全校行事は今までとは全く違うものを感じられました。特に体育祭では、クラスの全員が応援団やバックボード、司会などの役割をもち、放課後や休み時間を使って準備を行い、全力で本番に臨みました。最高学年の大変さを痛感するとともに、やりがいや協力することの大切さを学びました。そういった行事も含めて、私が今まで学校生活を送ってこられたのは、様々な人の支えがあったからです。

まず、クラスの友達です。私たちのクラスは人数がとても少ないです。しかし、その分一人一人が周りを見て、足りない部分を補う力を持っています。自分よりも相手のことを思いやり、互いに支え合いながら今日まで歩んできました。このクラスで過ごせたことは、私にとって一番の宝物です。

在校生の皆さんにも、感謝したいことがたくさんあります。2月に開かれた三送会では、私たち3年生についてのクイズや、メッセージビデオを用意してくれました。私たちのために生徒会総務が中心となり、昼休みなども使って一生懸命準備をしてくれて、とても嬉しかったです。1、2年生の皆さんはいつも明るく、積極性のあるところが強みです。そんな皆さんの創る佐々木中学校は、今年度よりも良いものになると確信しています。来年度も楽しんで、最高の一年にしてください。そして、教職員の皆様にも今まで大変お世話になりました。皆様のご指導のおかげで、様々なことを知り、学び、考えることができました。皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

最後に、ここまで私たちを育て、見守ってくださった保護者の皆様。皆様のおかげで私たちは今日、中学校を卒業し、義務教育を終えることができます。これからも長い時間お世話になりますが、どうぞよろしく願います。

私たちはこの3年間、多くの人に支えられ、多くのことを学びました。この経験を糧に、この先の人生を歩んでいきます。最後になりましたが、佐々木中学校に心からの感謝を捧げるとともに、佐々木中学校の更なる発展をお祈りし、答辞といたします。



3月2日(月) 卒業式予行練習の様子

佐々木地区のご支援に感謝 ～同窓会入会式・体育文化後援会奨励賞

2月27日(金)に、卒業生の同窓会入会式を実施しました。同窓会長様よりご挨拶をいただいた後、同窓会学年幹事(2名)の紹介があり、副会長様より卒業記念品(印鑑)を授与いただきました。最後に卒業生を代表して同窓会幹事が「誓いの言葉」を述べました。



【体育奨励賞】

- 陸上競技部
 - 2年女子 女子共通円盤投 地区大会5位・県通信陸上大会出場
- 器械体操
 - 1年女子 女子個人総合 地区大会2位・県大会出場
 - 1年女子 女子個人総合 地区大会4位・県大会出場
- 体力テスト校内新(タイ)記録達成者
 - 3年男子 男子50m 6.10秒(新記録)
 - 3年男子 男子ボール投げ 40m(新記録)
 - 男子反復横跳び 79回(タイ記録)
 - 2年女子 女子反復横跳び 70回(新記録)
- サッカー
 - 3年男子 (F. THREE U-15 所属)
 - 高円宮杯 JFA U-15 サッカーリーグ 2025
 - 第17回北信越リーグ大会出場
 - 第31回全日本ユース(U-15)フットサル大会新潟県大会ベスト8



同窓会入会式に続き、体育文化後援会の奨励賞授与式を実施しました。本年度は体育奨励賞で6名、文化奨励賞で2名の受賞があり、体育文化後援会会長様より、メダルを授与していただきました。最後に、受賞者を代表して3年生が感謝の言葉を述べました。



【文化奨励賞】

- 標語
 - 2年男子
 - 歯・口の健康啓発標語コンクール 新発田市2位
 - 県審査 最優秀賞・中央審査(全国) 最優秀賞
- ピアノ
 - 1年男子
 - ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 中学生(ソロ)部門
 - 新潟地区大会 銅賞・全国大会出場



歯・口の健康啓発標語コンクール最優秀賞報告会(市長表敬訪問)

2月18日(水)に、東京都の歯科医師会館で行われた「歯・口の健康啓発標語コンクール」(日本歯科医師会主催)の表彰式に、2年男子が参加しました。それを受け、25日(水)の午後にヨリネスしばた(市役所本庁舎)の市長室で「最優秀賞報告会(市長表敬訪問)」を行いました。新発田市長・二階堂馨様をはじめ、新発田市教育長・工藤ひとし様、新潟県歯科医師会副会長様、新発田市歯科医師会会長様からも参列していただき、労いのお言葉をいただきました。

「歯みがきは 体を守る 最前線」

今回、このような素晴らしい賞をいただき、とても光栄です。「むし歯や歯周病から、脳や心臓などの全身の病気に発展する」と聞いたことがあり、歯や口の健康が全身の健康にもつながると考え、この標語を思いつきました。口は、話したり食ったり呼吸したりなど、重要な役割を担っています。ですので、初めは「最重要」という言葉を選んだのですが、「全身を守る」というイメージを大切にしたいので、「最前線」という言葉に変更しました。受賞には大変驚きましたが、とても嬉しかったです。この機会に、自分の歯磨きを振り返り、より丁寧に磨きたいです。私の標語をきっかけとして、誰かの歯や口の健康への意識が高まるとより嬉しく思います。(2年男子 受賞の感想より)



報告会に参加した皆様との記念撮影